

外国がルーツ、浜松の未就学児



入学前に学校生活体験

学生支援 模擬授業や掃除

外国にルーツを持つ浜松市内の未就学児が小学校入学前に学校生活を体験する「びよびよクラス」が29日まで、市内3小学校で開かれている。ブラジルやインドネシアなどの国籍の子どもたちが、大学生による模擬授業を受けたり掃除をしたりして入学に備えている。

大学生の指導を受けて平仮名を練習する子ども＝浜松市中区の市立佐鳴台小

支援に当たるのは、静岡文化芸術大、静岡大、浜松学院大の学生でつくるボランティア団体「WISH」。日本の学校生活に対する子どもや保護者

の不安を軽減しようと、14年前から続けている。

26日は佐鳴台小(中区)で、ブラジルやペルー国籍の8人が朝から日本語や音楽、図工などの授業に取り組んだ。日本語の授業では、学生手作りの教材を使って楽しみながら平仮名を練習した。図工は写真立ての飾り付けを行い、はさみなどの使い方覚え

た。WISH代表の池田ひなたさん(20)＝静岡文化芸術大2年＝は「入学前に友だちと触れ合うことも孤独感の解消につながる。入学に向けていいスタートが切れるよう力になりたい」と話す。(浜松総局・佐野由香利)